大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

イベント通知

2026 年3月 17 日

＼共感と共助が創る新しい経済モデルを議論／

いのち会議・SSI シンポジウム「共通善の経済・経営へ ― 知識創造、共感経済、共助資本主義による実現 ―」

～企業・大学・市民社会の協働から共感経済と共助資本主義の可能性を探る～

【3/30(月)14:30～@東京大学】

❖ 概要



大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)といのち会議は、2026 年 3 月 30 日(月)、東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホールにて、いのち会議・SSI シンポジウム「共通善の経済・経営へ ― 知識創造、共感経済、共助資本主義による実現 ―」を開催します。

世界が直面する複雑な社会課題に対し、単なる効率追求型の資本主義ではなく、人々の共感や協働を基盤とした新しい経済のあり方が求められています。いのち会議は企業・行政・専門家・市民が「いのち」を起点に協働するプラットフォームとして活動しており、大阪大学 SSI は学術知を社会に接続し社会変革を促す拠点として実践を重ねてきました。同時に、経済同友会が提唱する「共助資本主義」、さらには「共助資本主義の実現に向けた大学連合(Solve)」の動きが、社会の新たなダイナミズムを起こしつつあります。

本シンポジウムでは、故・野中郁次郎氏が提唱した「知識創造経営(SECI モデル)」の思想を継承しつつ、共感を基盤とした経済モデルや、経済同友会が提唱する「共助資本主義」の理念を結び付け、「知識創造 × 共感 × 共助」による新しい経済・経営のあり方を議論します。

企業、大学、NPO、研究機関など多様な分野の専門家が登壇し、企業・市民社会・大学の協働による共感経済の可能性や、共助資本主義が開く未来について多角的に議論します。

当日は、取材いただけるメディアのみなさま方に、発表会の様子を撮影いただけるスペースも設けています。つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。

❖ **「共通善の経済・経営へ ― 知識創造、共感経済、共助資本主義による実現 ―」概要**

※プログラムの詳細は本ページ下部をご確認ください。

【日時】

2026 年 3 月 30 日(月)14:30～17:45(交流会 18:00～20:00)

【場所】

東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

【主催】

いのち会議、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)

【後援】

一般社団法人 経済同友会、共助資本主義の実現に向けた大学連合(Solve!)、関西 SDGs プラットフォーム大学分科会

【参加方法】

こちらのフォームから登録ください。
(取材申込につきましては本リリースの最終ページをご覧ください)
https://forms.gle/e1fgmiKjfy44D24J8

❖ **背景**

「いのち会議」は、企業・行政・研究者・市民が連携し、「いのち」を起点とした社会変革を目指すプラットフォームとして活動しています。2025 年大阪・関西万博では「いのち宣言」を発信し、万博後も社会課題解決に向けた取り組みを継続しています。

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)は、分野横断型の研究者と多様なステークホルダーの協働により、学術知を社会に実装し、公共性や共通善を重視した社会変革モデルの創出を目指す拠点です。

本シンポジウムは、これらの取り組みを踏まえ、企業・大学・市民社会の協働により新しい経済のあり方を模索する場として開催されます。

❖ **プログラム**

14:30 開会のごあいさつ

主催者:堂目 卓生(大阪大学 総長補佐・社会ソリューションイニシアティブ(SSI)長・特任教授(常勤)／いのち会議 事業実行委員会委員長)

来賓:大橋 弘 氏(東京大学 副学長・教授)

後援メッセージ:岩井 睦雄 氏 (一般社団法人経済同友会 筆頭副代表幹事)

14:50 セッション 1：共感に基づく知識創造経営

登壇者

廣瀬 文乃 氏（立教大学 経営学部長）

高山 千弘 氏（ノックオンザドア株式会社 共同創業者）

宮田 博文 氏（株式会社宮田運輸 会長）

高橋 陽子 氏（公益社団法人 日本フィランソロピー協会 理事長）

モデレーター：木多 道宏（大阪大学 SSI 副長／大阪大学大学院工学研究科 教授）

論点

・組織内部での知識創造（SECI）と共助文化の醸成・共感を軸にした経営の意思決定

・「いのち」や「公共性」を中心に置く経営モデル

15:35 セッション 2：企業・市民社会・大学の協働による共感経済の構築

登壇者

平瀬 錬司 氏（サステナブル・ラボ株式会社 代表）

下村 委津子 氏（認定 NPO 法人環境市民 副代表）

住田 孝之 氏（住友商事株式会社 専務執行役員）

峯 陽一 氏（独立行政法人国際協力機構 緒方貞子平和開発研究所 所長）

白藤 大仁 氏（株式会社リンクソシュール 代表取締役）

モデレーター：伊藤 武志（大阪大学 SSI 教授・企画調整室長）

論点

・データに基づく企業活動の可視化と政策・経営への活用

・マルチステークホルダーの意識改革と選択

・企業・NPO・行政の役割分担と協働モデル

・いのち宣言アクションプランの具体化・ロードマップ

16:40 セッション 3：共助資本主義が開く未来

登壇者

岩井 睦雄 氏（経済同友会 筆頭副代表幹事）

湯浅 誠 氏（東京大学先端科学技術研究センター 特任教授）

米良 はるか 氏（READYFOR 株式会社 CEO）

富士榮 尚寛 氏（伊藤忠テクノソリューションズ みらい研究所 所長）

モデレーター：堂目 卓生 氏（大阪大学）

論点

・共助資本主義の社会浸透と展望
・共感を基盤とした市場の未来
・市民参加型・越境型学習の役割
・大学が果たす社会変革のインフラとしての役割

17:25 クロージング

共通善の経済・経営に向けて：伊藤武志（大阪大学 SSI 企画調整室長・教授）
閉会挨拶：木多 道宏（大阪大学 SSI 副長）

❖ **知識創造経営について**

野中郁次郎先生は、組織が価値を創造する源泉は“知識”であり、知識は人と人との相互作用の中で生まれることを示しました。

代表理論である SECI モデル は、

S（共同化）：暗黙知を共有する
E（表出化）：暗黙知を形式知にする
C（連結化）：形式知同士を組み合わせる
I（内面化）：形式知を暗黙知として実践に取り込む

という循環から新しい知が生まれると説明しています

❖ **「いのち会議」について**

「いのち会議」事業推進協議会（略称「いのち会議」）とは、一人ひとりが地球の上で生かされている「いのち」であるという意識に立ってつながり、声を上げ、聞きあい、考え、話し、ひとつの声にしてグローバルなムーブメントにつなげていく場です。「いのち」とは何か、「輝く」とはどういうことか、「誰一人取り残さない」ために何をなすべきかを、あらゆる境を越えて考え、話し合い、それぞれが行動に移していきます。グローバルな規模での産官学民による共創によって、2025 年大阪・関西万博において「いのち宣言」を発信します。2025 年以降も「いのち会議」を万博のレガシーとして継続し、SDGs を推進し、SDGs の次のゴールを構想していきます。

（ウェブサイト：https://inochi-forum.org/）

❖ **大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（SSI）について**

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（SSI）は、大阪大学の人文学・社会科学系の研究者が中心となり、理工情報系や医歯薬生命系など自然科学系の研究者、そしてパブリックセクターや民間企業など、多様なステークホルダーと連携し、社会課題の解決と持続可能な共生社会の実現を目指すシンクタンクとして、2018 年に設立されました。2030 年、さらには 2050 年に向けて「命を大切にし、一人一人が輝く社会」を目指して、社会課題解決に向けて取り組んでいます。

（ウェブサイト：https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/）

❖ 共助資本主義について

2023 年 4 月に公益社団法人経済同友会が提唱した「共助資本主義」は、民間主導による成長と共助が両立した well being の実現を目的とし、成長だけではなく、ソーシャルセクターと連携し社会課題を解決する共助により、包摂ある社会をつくることを目指しています。

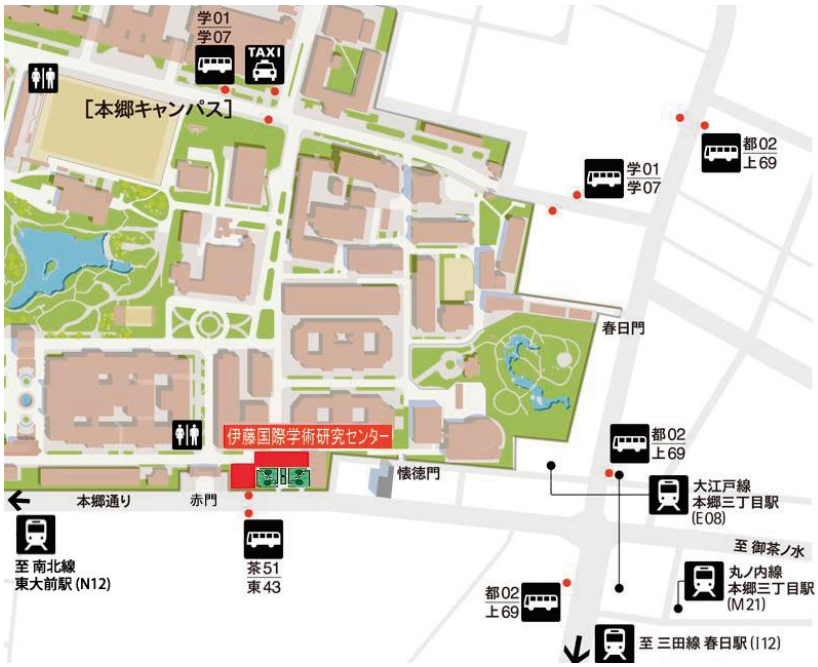
❖ Solve!(共助資本主義の実現に向けた大学連合)について

共助資本主義の実現に向けて大学・研究者・学生が社会課題解決に向けて実践・研究を推進するための全国ネットワーク。大学発の社会変革エコシステム形成を目指しています。

❖ シンポジウム会場へのアクセス

東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

住所 〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3−1



・本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)より徒歩 8 分

・本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)より徒歩 6 分

・湯島駅(地下鉄千代田線)より徒歩 15 分

・東大前駅(地下鉄南北線)より徒歩 12 分

※詳しくは伊藤謝恩ホール HP をご覧ください。

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html